

「ももっこステーション」キャンペーンの開始にあたって

「子育て支援センター」、「つどいの広場」、「児童館」、「子育てサロン」、「おもちゃ図書館」、「プレーパーク」など、地域では、就学前の子育て親子のさまざまな居場所づくりが行われています。

これらの場所は、在宅で乳幼児の子育てを行う保護者の息抜き、悩み相談、子育て仲間とのつながりの場となっているほか、子どもの遊びや友達づくりの場ともなっています。地域のつながりの衰えが指摘されるなかで、一日中子どもと二人きりで子育てに取り組んでいる方や、少子化で地域に友達が少ない子どもに、子育ての拠点として貴重な交流の場を提供していただいています。

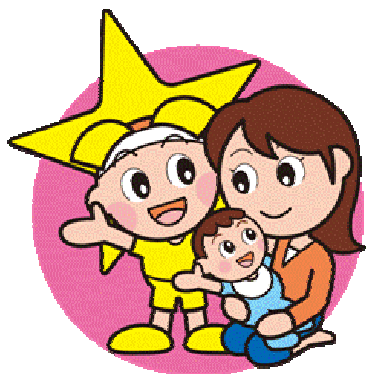
現状では、このような活動は口コミで広がることも多いと承知しておりますが、より広く県民に知っていただき、子育ての最初の段階で、気楽な気持ちで活動の場に入っていただくことを後押しする意味で、このような場所を「ももっこステーション」という統一的な愛称で呼び、県が広報活動のお手伝いをする施策を開始することといたしました。

この事業のシンボルマークは、子育て親子に「ももっち」をあしらったデザインといたしております。視線を交わらせた親子で安心な居場所であることを象徴させ、また、県マスコットのももっちで信頼感を表現いたしております。

また、「遊んで。話して。ほっと一息」というキャッチフレーズは、現場スタッフの方々からもアイデアをいただき、活動の内容が短い言葉で伝わるように表現したものです。

今後、看板やのぼり旗などの広報資材を現地に掲示していただくことや、県のホームページで情報提供を行うことで、「ももっこステーション」の活動が、子育て当事者や地域にとってより身近な存在になることを希望いたしております。

岡山県保健福祉部子ども未来課



ももっこステーション看板



のぼり